

「各教科の課題」と「具体的な授業改善策」

東大和市立第四小学校 5年

	各教科の課題	具体的な授業改善策	補足的・発展的学習指導計画	評価
国語	○日常生活に必要な知識や技能を身に付けること	○読み取る力の向上 ・家庭学習などで繰り返し文章を音読することで、文章に慣れさせる。 ・図書授業の際、静読の時間を十分に確保する。 ・説明文の学習では、筆者の主張とその理由や説明を理解できるように、段落や接続語、キーワードを意識させる。 ○語彙力の向上させる授業の工夫 ・説明文や物語文では、意味調べを通して語彙力を高める。 ・既習の漢字や熟語を積極的に活用させる。	・まとめたことを表現する場を設定する。 ・辞書を活用する時間を設ける。 ・学習の振り返りで習熟度を確認する。 ・リアテンドントの言葉編を活用する。	B
社会	○社会的事象について多角的に考えたことや選択・判断したことを表現する力を養うこと	○課題意識をもたせ、資料や情報の収集・活用力を向上させる授業の工夫 ・導入時に児童の学習意欲を高められる資料を選定し、提示する。 ・児童の疑問から学習問題をつくり、子供たち自身が考える必然性をもたせる。 ・調べ学習やまとめ等で、ICTを活用するなど、多様な方法を取り入れる。	・資料集や地図帳等、様々な資料を活用する。 ・1時間の学習内容が分かりやすくまとめられるようにノート指導を充実させる。 ・リアテンドントを活用した学習を取り入れる。	A
算数	○自分の考えをもち、目的に合った表現方法を用いて表現すること	○数学的な見方・考え方を働かせる授業の工夫 ・数直線図、線分図のかき方を確認し、正しくかけるよう指導する。 ・既習事項とのつながりを意識して、自分の考えをもてるように指導する。 ・自分の考えを友達と伝え合う時間を設ける。 ・算数用語を意識して、正しく使えるように指導する。	・一人一人の児童の理解に応じた少人数指導を行う。 ・リアテンドント・AI型教材を活用する。	B
理科	○科学的事象や生物と環境との関わりに対する関心を高め、主体的に問題解決しようとする態度を育てること	○課題意識をもって、実験・観察に取り組める活動の工夫 ・日常生活から出た疑問から観察や実験を行えるように導入を工夫する。 ・自然事象との出会いの中から問題を見付けさせる。	・観察、実験を行う上での視点を明確にする。 ・習熟プリント・ワークシートを活用する。	A
音楽	○表したい音楽表現をするために必要である基本的な歌唱・器楽の知識技能を身に付けること。	○意欲的に学べる授業の工夫 ・生活の中の音や音楽と結び付け、興味関心をもてるように導入を工夫する。 ○知識・技能を身に付けるための学習の工夫 ・ペア練習やグループ活動を多く取り入れ、主体的に児童同士が学び合う時間を確保する。 ・ICTを効果的に活用し、基礎的な技能を理解しやすくする。	・年間を通して常時活動を行い、音楽の基礎基本を身に付ける。 ・様々な楽器や楽曲に触れられるようにする。	B
図工	○主体的に表現したり鑑賞したりする態度を養うこと	○児童が進んで造形活動に取り組めるような授業展開を工夫 ・関心、意欲、豊かな発想につながる導入の工夫を行う。 ・児童が自分で表現したいことを見付けられるような個別の声掛けを行う。 ・友達の作品や、工夫を見付けて自分の表現にも生かせるような時間を設ける。	・ワークシートを用いて、表現のねらいや意図を確認させる。 ・題材ごとに鑑賞カードを使って友達の工夫点を見付けさせる。	B
家庭	○衣食住、消費や環境について、日常生活に必要な基礎的な知識技能を身に付けること	○技能の習得の実態を把握し、作品製作や実習の達成感を味わえるきめ細やかな指導の充実 ・サンプル等を例示して意欲を高める工夫をする。	・課題を明確にし、習得した技能を使い、作品を作るなど、実践させる。 ・家庭で調理実習や制作を行い、実践力を高める。	B
体育	○安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度を養うこと	○できる喜びを味わわせるような指導の工夫 ・基本的な動きを分析して示し、技能の向上を図ることで運動の楽しさを実感させる。 ・具体的な手立てを示し、スモールステップでの分析、指導を行う。 ・目標をもって運動したり、達成感を味わったりできるようにする。	・友達とのかかわり合いを活発にし、互いに教え合い高め合う場面を増やす。 ・スモールステップを意識した教具の工夫をする。	B

